

第4章 全体構想

1 都市づくりの基本理念

本市は、古くから島原半島の教育・文化、産業・経済、行政の中心的役割を果たしてきました。半島の東部に位置し、九州の東西を結ぶ海上・陸上交通の要衝として、地域外との活発な交流が図られてきました。また、観光や農業・漁業生産の拠点としての特徴を持ち、自然環境や地域資源に恵まれた都市として発展してきました。

しかし、本市を取り巻く状況として、人口減少や少子高齢化の進行による超高齢社会の到来、情報化社会、社会経済のグローバル化、ライフスタイルの変化による産業構造や雇用形態の変化等があり、多くの課題を抱えています。

これらの背景や状況を踏まえ、「島原市市勢振興計画」では、都市づくりビジョンを

1. 島原半島の中心都市づくり
2. 交通・情報ネットワークづくり
3. 安全・安心な暮らしづくり
4. 特色ある産業づくり
5. 健康で誇り高く暮らせる『ひとづくり』重視の都市づくり

としています。

また、本市の目指すべき将来像を

「有明海にひらく湧水あふれる火山と歴史の田園都市 島原」

と定めています。

このような都市づくりや将来像を実現するための主な課題として、活力とにぎわいのある中心都市としてのあり方、利便性の高い交通体系のあり方、水と緑を活かした都市環境形成のあり方、人にやさしい快適な生活環境のあり方、安心して暮らせる安全な都市づくりのあり方等があげられます。

本都市計画マスタープランでは、都市づくりの基本理念を島原市市勢振興計画の将来像と都市づくりの課題を踏まえ、

「豊かな自然と歴史に彩られた活力ある都市 島原」^{まち}

とします。